

令和5年度第4回奈良市環境審議会会議録			
開催日時	令和6年2月26日(月) 15時00分から16時00分まで		
開催場所	奈良市役所中央棟地下1階B1会議室		
出席者	委員	藤井会長、小松原副会長、境内委員、豊田委員、瀬戸委員、武田委員、河野委員、二宮委員、清水委員、東浦委員 【計10人出席】(林委員は欠席)	
	事務局	環境部 山口部長 環境政策課 増田課長、本田課長補佐、石飛係長、出口主務 村井主務、島係員、松本	
開催形態	公開(傍聴人0人) 案件(3)のみ非公開	非公開の理由	奈良市情報公開条例第7条第3号
		非公開の具体的な理由等 応募事業者の提案内容等の情報を含むため。	
議題 又は 案件	1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について 2 環境基本計画年次報告書〈奈良市の環境〉について 3 小委員会における事業者選定結果について		
決定又は取り纏め事項	1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について、承認された。 2 環境基本計画年次報告書〈奈良市の環境〉について、承認された。 3 小委員会における事業者選定結果について、報告があった。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、奈良市地球温暖化対策地域実行計画の実績について、【冊子】実績報告書(案)を基に概要説明。 ・二宮委員より、第3次の奈良市地球温暖化対策地域実行計画における温室効果ガス削減目標について確認。 ・事務局より、2013年度を基準年度として、2030年にはマイナス50%、2050年には実質ゼロと目標を定めている旨の説明。 ・二宮委員より、奈良市全体として具体的に何をやって温室効果ガスを削減していくのかが見えない部分がある。奈良市の方向性についてはどうか。 ・事務局より、奈良市の方向性としては、公共施設・民間施設問わず太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーの推進である。 ・境内委員より、部門別温室効果ガス排出量の割合から、奈良市としてターゲットを絞っていくべきは、民生家庭・業務部門である。 ・豊田委員より、運輸部門のデータ更新の影響により、2013年度の値は今の推計方法を用いると数値が上がることの説明を補足的に行ったほうが良いのではないかと。また、CO₂の削減量 			

について、電気自動車の台数や太陽光の導入容量等、より具体的な数値で進捗状況の管理を行えば、奈良市の対策として、未達部分への議論を行いやすくなるのではないかと。

・清水委員より、電力消費量と電気の二酸化炭素排出係数の推移について、各個人や事業者の自家発電自家消費量は含まれないという認識で間違いないか。また二酸化炭素排出係数を固定した場合のエネルギー起源の二酸化炭素排出量の推移について、2017年から2021年の5年間について、2021年の数値が一番大きく、それに対する奈良市の分析はどうか。

・事務局より、確認したうえで、改めて回答する。

・瀬戸委員より、データ推移の増減について、一人あたりに対する数値を算出していけば分析が容易になる点、電化率（最終エネルギー消費に占める電力消費量の割合）が増加すればCO₂の削減に繋がり、今後意識していくべき指標である点、CO₂排出量とGDPの相関性について、排出量の削減とGDPの上昇の両立が一番健全な状態である点について、今後注目してはどうか。

・二宮委員より、エネルギー起源の二酸化炭素排出量の推移のグラフについて、減少している部門については具体的に示すなどのデータの見せ方について工夫すると良いのではないかと。

2 環境基本計画年次報告書〈奈良市の環境〉について

・事務局から、環境基本計画年次報告書〈奈良市の環境〉について、【冊子】奈良市の環境（案）等を基に概要説明。

・小松原副会長より、2月8日に開催された推進会議の報告があった。第3次環境基本計画は、SDGsがベースとなっており、推進にあたっては、担当課が行動指針基準を設定する際に、SDGsの視点をからめた評価を行うことで、行政サービス向上に繋げてもらいたい。

・二宮委員より、環境省の取組としてCOOL CHOICEから「デコ活」に代わっているため、その記載をしてはどうか。

・事務局より、令和5年度よりデコ活に参画しているが、今回の年次報告書は、令和4年度実績のためCOOL CHOICEの記載とした。

・豊田委員より、子ども版について、掲載する写真を新しいものにするるとともに奈良市に特化した内容に。また再生可能エネルギー等、最近の動向についての記載を、取り入れてはどうか。

・清水委員より、第3章について、継続している事業と新たに取り組んだ事業が分かるようになるとうい。さらに、継続している事業は、例年と比較してどの程度のレベル感で実施したのか分かれば、その取組に対して言及をしていくことができる。

・事務局にて、意見を受けて改善する。

（案件3は、奈良市情報公開条例第29条第2号の規定により非公開とする。）

3 小委員会における事業者選定結果について

・事務局から、再公募についての概要説明があった。

・選定小委員会による選定の実施結果について報告があった。

資 料	【冊子】「2023 年度(2021 年度実績)奈良市地球温暖化対策地域実行計画実績報告書」(案) 【冊子】「奈良市の環境 令和 5 年度(2023 年度)版」(案) 【冊子】「奈良市の環境 (子ども版) 令和 5 年度(2023 年度)版」(案)
-----	---